

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b>                      1 全体評価  <b>【原文】</b>                      『一方、企画・経営戦略会議において、これまでの国立大学法人評価委員会の評価結果を次期中期目標・中期計画に反映させるための体制作りを行うことについては、その体制作りには至っていないことから、体制作りを早急に行うことが求められる。』</p> <p>2 項目別評価                      (2) 業務運営の改善および効率化  <b>【原文】</b>                      『平成19年度の実績のうち、下記の事項に課題がある。  <b>【法人による自己評価と評価委員会の評価が異なる事項】</b>                      ○ 年度計画【11-2】「企画・経営戦略会議において、これまでの国立大学法人評価委員会の評価結果を次期中期目標・中期計画に反映させるための体制作りを行う。」(実績報告書16頁)については、年度計画を策定する計画策定委員会は設置されているが、次期中期目標・中期計画に反映させるための体制作りには至っていないことから、年度計画を十分には実施していないものと認められる。</p> <p><b>【評定】</b> 中期目標・中期計画の達成に向けて<u>おおむね順調</u>に進んでいる                      (理由) 年度計画の記載32 事項中31 事項が「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるが、1 事項について「年度計画を十分には実施してい</p>	<p><b>【対応】</b>                      原案のとおりとする。</p> <p><b>【理由】</b>                      年度計画においては、「次期中期目標・中期計画に反映させるための体制作りを行う」とされているが、体制作りには至っていないため。</p>

ない」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。』

**【申立内容】**

下記1、2のとおり、上記【原文】の「一部削除」および「変更」（修正文案への変更）の検討をお願いしたい。

- 1 「全体評価」においては、上記【原文】の「削除」
- 2 「項目別評価」においては、上記【原文】にかかる、
  - (1) 【法人による自己評価と評価委員会の評価が異なる事項】の「削除」
  - (2) 【評定】の下記【修正文案】への「変更」

**【修正文案】**

『【評定】中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

（理由）年度計画の記載32事項中32事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。』

**【理由】**

○ 年度計画【11-2】について

「企画・経営戦略会議」において次期中期目標・中期計画のための体制作りはなされなかったが、実質的には新たな組織体制の下、次期中期計画の策定に関する取組を着実に推進している。

よって上記【申立内容】についてご検討賜りたい。具体的な取組結果は次のとおりである。

1. 次期中期目標・中期計画の策定に関しては、平成19年6月より新学長の下、以下の状況を勘案し、別紙1から別紙2のように体制を再整備し、その検討に着手した。

- (1) 「企画・経営戦略会議」の構成員は22名であり、機動力のある戦略策定が容易ではないと判断したこと。
- (2) 当該会議の担当理事は、企画と評価を主担当としていたが、評価による内部モニタリングを強化するため、企画、評価それぞれに担当理事を配置し、それに伴い計画部門全体の体制を再検討したこと。
- (3) 再検討にあたっては、一つの全学的会議で論議を進めるのではなく、各部局の将来計画委員会等を基本に、各部局の決定を積極的に反映できる緩やかな体制を志向したこと。

2. 次期中期目標・計画の策定過程に対しては、学長および企画担当理事がイニシアチブをとり、各種会議で論議を進めた。（一例として別紙3を参照されたい。）

3. 各部局に対しては、平成20年8月を期限とし、各部局の中期計画の原案作成を依頼し（平成20年3月の教育研究評議会にて学長が口頭依頼。文書依頼は別紙4のとおり）、現在、各部局より原案が提出されている。（一例として別紙5の工学部原案（一部）を参照されたい。）

なお、平成20年度の取組予定は別紙6（7月提出済）のとおりである。

以上、中期目標・計画に対する取組については、「新組織の設置」は外形的に認められないものの、新学長および新たな体制整備の下、着実に実質化している。